

はら うち 原の内A遺跡（第4次）

遺跡番号 212-029
調査回数 第4次
所在地 山形県尾花沢市鶴子字原の内
北緯・東経 38度33分49秒・140度29分28秒
調査委託者 山形県観光文化スポーツ部文化財活用課・山形県村山総合支庁産業経済部北村山農村整備課
起因事業 農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区
調査面積 690㎡
受託期間 令和4年9月1日～令和5年3月31日
現地調査 令和4年10月3日～11月30日
調査担当者 植松暁彦（現場責任者）・氏家信行
調査協力 尾花沢市教育委員会・鶴子六沢土地改良区
遺跡種別 集落跡
時代 縄文
遺構 土坑・溝跡・柱穴・川跡・捨て場
遺物 縄文土器・石器・土偶・土製品（文化財認定箱数：138箱）

調査の概要

原の内A遺跡は、奥羽山地の麓の尾花沢市鶴子に位置し、丹生川左岸の河岸段丘上に立地する。今回の調査は、昭和55年（1981）、昭和57年（1983）、昭和62年（1988）に続き、第4次調査となる。従来の調査では、縄文時代と古代の集落跡が発見され、特に今回調査の西約50mに近接する第3次調査では縄文時代中期の堅穴住居跡やフラスコ状土坑群、列石などが確認された。

第4次調査は、農地整備事業の用排水路工事に伴い、遺跡の東縁部が初めて調査され、南北に細長いL字形の調査区となる。調査区では、中央部（3区中央）で縄文時代の大谷（SG20）が発見され、それを境に南側の主に標高の高い地区（1・2区）で縄文時代中期の溝状遺構や土坑、柱穴、小谷跡、大谷の北側の標高が低い地区（3区北半）で、土坑や柱穴、風倒木などが検出された

遺構と遺物

第4次調査では、調査区中央部で幅約20mの西流するSG20大谷が発見された。SG20大谷は、南北両端が深く、縄文時代中期の土器片が単発的に出土した。

SG20大谷の南側の高地では、SK5土坑・SD6溝跡、SX7風倒木痕などが発見された。特にSD6溝跡は、長さ4m以上、幅約3m、深さは約1mを測り南北方向に



遺跡位置図（S = 1:50,000）

走行する。多量の縄文時代中期前葉（約5,000年前）の土器群が土圧により倒壊した状態で出土した。また、頁岩製の狩猟具（石族・石槍）・加工具（石錐・石匙・石ベラ・搔器・削器）と共に、磨製石斧、凹石や磨石が多く、他に土偶も出土した。なお、SD6溝跡はSK5・SK13土坑と重複し、3時期以上の変遷が窺えた。

更に、その東側では、一段低く集落を区切るSG15・16・17小谷跡が東側に傾斜し分布する。特にSG15谷跡は、長さ9m以上、幅約3.5m、深さ約1.2mの規模で、西から東に開口する。縄文時代前～中葉（約4,500年前）

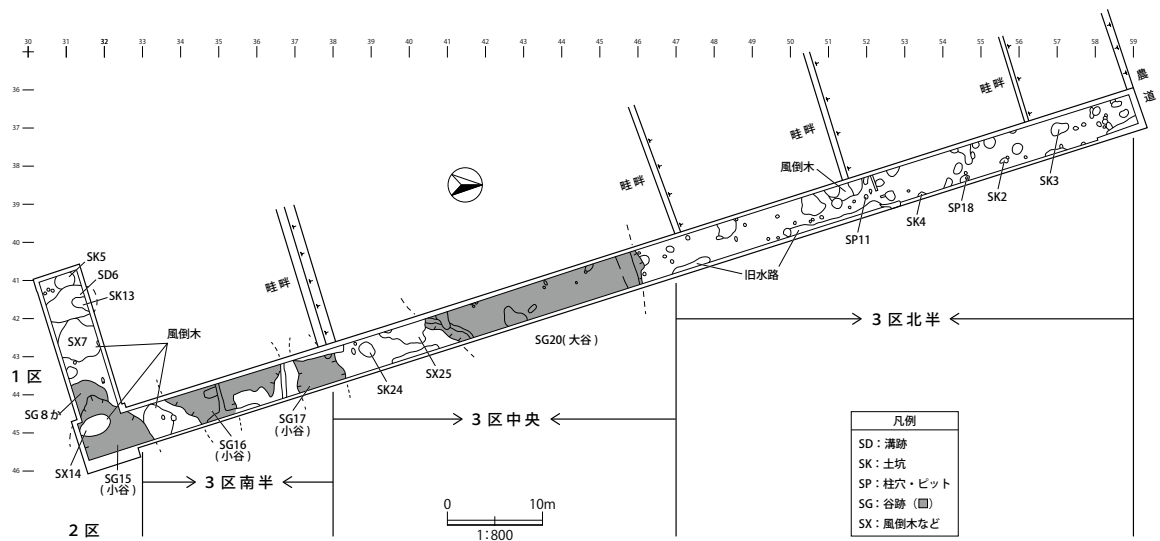


図1 遺構配置図

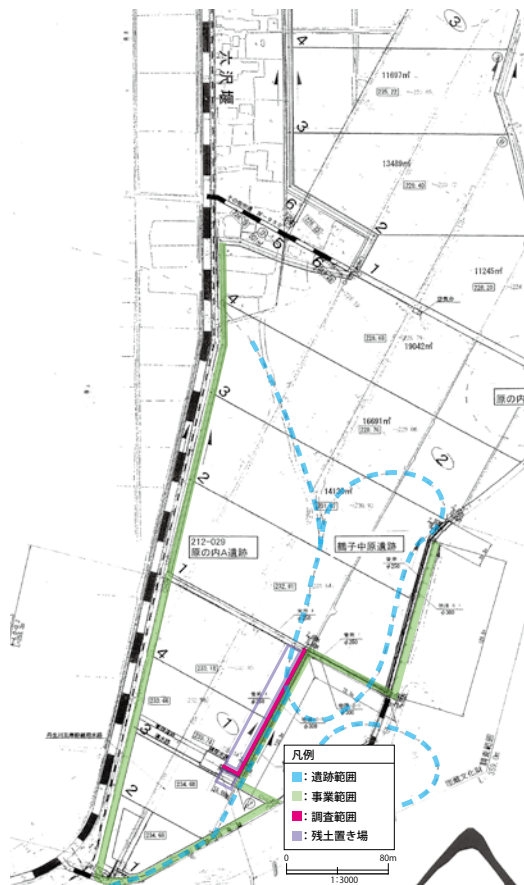


図2 調査概要図 (S = 1:3,000)

の多量の遺物が出土し、SD 6 溝跡と同じ機能が考えられた。小形の西ノ前型土偶や県内で希少な三角溝形土製品など祭祀具、耳栓形土製品の装飾具も出土した。

SG20 大谷北側の調査区北半では、土坑や柱穴、風倒木痕が単発的に検出された。これらからは、SD 6 溝跡やSG15 谷跡と同時期の縄文土器片などが出土した。

まとめ

第4次調査は、遺跡(集落)範囲の東縁部にあたる。

調査区南側は、土坑など存在から前回調査までの集落主体部の延長と考えられ、遺構の重複関係から、集落外縁においても長期に渡り当時の活動があったことが窺えた。また、SD 6 溝跡とSG15 谷跡では、多量の遺物が出土し、当時の廃棄場である所謂「捨て場」の性格が推測された。そして、両者の新旧から「捨て場」が集落の内部から徐々に外縁に移動する様相も推測された。他に、多数の土器と共に、凹石・磨石が多く出土し、当時集落周辺に豊富だった堅果類の活発な利用が推測される。

一方、調査区中央部のSG20 大谷は当時の集落を区切り、調査区北側は遺構分布が希薄で、集落北東縁部の様相の一端を示すものと考えられる。



写真1 調査区近景(南より)



写真2 調査区南半のSD 6・SG15 完掘状況(南より)



写真3 SD 6 溝状遺構の上層の遺物出土状況(南より)



写真4 SD 6 溝状遺構上層の縄文土器(波状口縁)出土(西より)



写真5 SD 6 溝状遺構中層の縄文土器の出土状況(東より)



写真6 SD 6 溝状遺構下層の遺物出土状況(南より)



写真7 SG15 谷跡の遺物出土状況(西より)



写真8 SG15 谷跡の縄文土器(キャリパー型)出土状況(北より)



写真9 SG15 谷跡の土偶(西ノ前型) 出土状況(東より)



写真10 SX14 風倒木痕の三角溝形土製品(東より)



写真11 SG15 谷跡床面の遺物出土状況(東より)



写真12 SG20 大谷の精査状況(北東より)



写真13 調査区北半の土坑・ピット群の完掘状況(北より)



写真14 土偶・土製品・石製品の集合写真



写真15 石器(石鏃・石錐・石匙・石ペラ・磨製石斧)



写真16 凹石の集合写真